

第584回福崎町教育委員会会議録

開催日時 平成29年10月19日(木) 13時30分～16時00分
開催場所 神崎郡歴史民俗資料館
出席委員 高寄十郎、石川治、谷口喜久美、西井裕子
事務局 学校教育課長 岩木秀人、社会教育課長 大塚久典

○特別展「れきみんなのお宝35選」、福崎町子どもふるさと展を観覧しました。

1、開会

2、583回議事の報告を行い、承認されました。本会の署名委員として石川委員・谷口委員を指名しました。

3、教育長報告

(1) 園小中学校の様子

こども園入園手続きが10月24日から各幼稚園において行われます。小学校では万引きの報告が1件ありました。田原小の児童2名がTUTAYAでお菓子を万引きしました。いじめは4件で福崎小が3件、田原小が1件でした。そのほとんどがひやかしやからかいでした。1件だけ悪質なものがありました。サルビアこども園の運動会があり、家族とともに見学にきていた田原小1年生の児童と福崎小の1年生の児童たちが運動会の途中、外へ出て川で一緒に魚とりをしていたとのことでした。そこへ福崎小の児童たちがたくさんやってきて、川の中で遊んでいる田原小の児童に対して上から3名の児童が小便をかけるという事案が発生しました。福崎小は1年生と3年生の子どもたちでした。その事案について後日サルビアこども園から報告がありました。福崎小ではすぐに子どもたちに事情を聞き、保護者を呼んで注意しました。親子共々、田原小の児童のご家庭へ謝罪に行きました。不登校は小学校6年生で1名います。中学校では、交通事故が1件ありました。東中の生徒が車にはねられ、左の肩と左のひじを骨折し入院しました。現在、その生徒は元気に学校へ通っています。東中でいじめがありました。部活動の中でいさかいがあったとのこと。不登校は西中が4名、東中が3名となっています。このうち1名は他の中学校へ転校しました。

(2) 給食費滞納者に関する催告通知

弁護士事務所から給食費滞納者1名に催告通知を出しました。兄弟は皆、中学校を卒業しているのですが、給食費が滞っていました。現在、小学校1年生に子どもがおり、給食費の滞納が続いています。滞納金額は約40万円です。滞納を防ぐため、弁護士事務所を通して催告通知を手元に届けている状況です。

(3) 平成29年度地方教育行政功労賞

平成29年度地方教育行政功労賞を高寄教育長が受賞しました。

(4) 小学校修学旅行

奈良・京都方面へ10月19日、20日に修学旅行へ行きます。

(5) イングリッシュフェスティバル

11月4日にエルデホールでイングリッシュフェスティバルを実施します。今回初

めて、こども園の子どもたちに発表いただきます。

(6) 神崎郡人権教育実践発表会

1 1月7日に田原幼稚園、田原小学校において神崎郡人権教育実践発表会を行います。

(7) 大庄屋三木家と遠野物語を聞く会

1 1月17日に田原小5年生を対象に、18日には町民を対象に、遠野市出身の大平悦子さんをお招きし、大庄屋三木家において遠野物語をお話いただきます。昨年度、大平さんには福崎高校でお話いただきました。三木家が改修されて今年が1年目で、オープンの日でもあります。三木家といえば柳田國男、柳田國男といえば遠野物語ということから大平さんをお願いしました。大平さんから物語の標準語のあらすじをお話いただき、その後、遠野の言葉で話をさせていただきます。

(8) 自然学校事前視察について

1 1月28日、29日に希望される現在の4年生の保護者を対象に自然学校の施設を見学に行ってください。少しでも保護者の方の不安を和らげることができればと思います。

(9) 参加行事

資料に基づき報告しました。

4、報告事項

〈学校教育課〉

(1) 教育委員会事務事業評価委員会について

9月議会におきまして平成28年度の福崎町決算の認定をいただきました。そのうちの教育委員会の事務事業につきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、例年通り事務事業評価委員会を組織して点検及び評価を行っていただきます。この委員は任期が1年で、4名の委員決定後、評価委員会を開催します。

(2) 建設工事等の進捗状況について

資料に基づき報告しました。学校施設等長寿命化計画策定に係る調査業務委託ですが、現在学校施設の調査を進めています。10月10日現在で進捗率は65%です。現地の調査は終わり、その調査結果を分析し、劣化状況の評価を行っているところです。

長寿命化計画を策定する上で、教育委員会としては学校のエアコン設置もやむを得ない、前向きに考えていくという考えで一同了承しました。

(3) 給食費及びこども園等利用者負担の収入状況について

資料に基づき報告しました。平成29年度上半期9月末までの状況を示しています。給食費につきましては、現年度調定額が47,119,480円に対し、収入済額は45,216,576円で徴収率は96%となっています。昨年の同時期も96%でした。過年度分につきましては調定額1,063,325円に対し、収入済額は53,600円で徴収率は5%です。昨年の同時期は5.7%でしたので少し下がっています。教育長報告でお話しましたとおり、過年度分についてお一人に催告書を出しています。こども園等利用者負担につきましては、現年度調定額が52,090,000円に対し、収入済額が52,010,500円で徴収率は99.8%です。昨年は98.7%でした

ので徴収率は上がっています。過年度分は、調定額が619,350円に対し、収入済額246,850円で徴収率は39.9%です。昨年は32%でしたのでこちらも徴収率は上がっています。

(4) 学童保育園・放課後子ども教室利用状況について

資料に基づき報告しました。平成29年度上半期9月末までの状況を示しています。人数につきましては利用実人数という書き方をしております。登録されている方のうち月に1回でも利用すれば1人と数えています。西部学童保育園につきましては1学期中の月あたりの利用人数は約80人前後です。昨年度は65人前後でしたので増加しています。夏休み中の利用実人数も105人前後と昨年は95人前後でしたので増加しています。東部学童保育園につきましては1学期中の月あたりの利用人数は約100人前後で、昨年は80人前後でした。夏休み中の利用実人数は約125人前後でした。昨年は95人前後でした。昨年と比べると東部・西部とも約20人前後増えている状況です。学年別でみると西部、東部ともに1年生が35%前後、この数値は昨年と同じです。2年生は20%から25%前後、昨年度は20%から30%前後でした。3年生は15%から20%、昨年度は20%と、1年生から3年生で約8割を占めています。5・6年生の利用は7から10%、昨年は8から9%でした。全体的にみると割合としては3年生が減って、4年生が増えている状況です。田原小、八千種小で実施している放課後子ども教室の利用状況は、田原小では昨年度より約10人増加し、八千種小では昨年度とほぼ同じ利用人数となっています。

(5) 給食への異物混入について

資料に基づき報告しました。9月21日田原小でアンサンブルエッグの中に5mmほどの黒い毛髪が混入していました。毛髪の一部は製品の中に埋もれていましたので、製造時に混入したものと思われます。工場出荷前の毛髪点検等のマニュアルの再徹底、エアシャワー時間の変更、粘着ローラー交換頻度の改善を図るとの回答がありました。10月6日東中でごはんの中に緑色の異物が混入していました。調査したところ、食缶を拭き取るタオルの繊維が混入したものと思われます。ほつれのあるタオルはすぐに交換し、十分注意する旨の回答がありました。

(6) その他

・いじめについて

・弾道ミサイル発射に係るJアラート等を通じた緊急情報発信時の対応について

資料に基づき報告しました。国に国民保護ポータルサイトがあります。国の内閣官房などで弾道ミサイル落下時の行動等が分かりやすく示されたものです。それらの内容を受けまして、9月15日に兵庫県教育委員会からそれらの内容を一覧にまとめた形で各市町に周知されました。福崎町教育委員会として認定子ども園にも拡大し、一部修正を加え、10月3日の校長会、10月4日の園長会においてこの内容を通知しました。学校・園の全職員にこの内容を理解、周知するように指示しました。

〈社会教育課〉

(1) 第5回柳田國男ふるさと賞について

資料に基づき報告しました。平成25年度から取り組み、今年度5回目となります。各小中学校から選定された作品について10月2日に審査会を実施しました。神戸大学の井上舞先生、能瀬榮子先生、神戸医療福祉大学の足立泰紀先生欠席のため高寄教育長の3名に審査いただきました。小学校低中学年の部15点、小学校高学年の部31点、

中学校の部20点の計66点で、昨年より11点増えています。それぞれの部門においてふるさと賞1点、奨励賞3点が決定しました。作品は11月26日まで記念館で福崎町子どもふるさと展として展示します。

(2) 日本民俗学会研究奨励賞（福崎町賞）について

資料に基づき報告しました。柳田國男生誕の地、民俗学のふるさととして、福崎町を全国に広く発信するために平成23年度から日本民俗学会が実施する研究奨励賞に副賞として10万円を贈ることとしています。今年度は大阪府立大学工業高等専門学校講師の伏見裕子さんが受賞されました。10月14日、佛教大学で開催されました日本民俗学会第69年会において、授賞式が行われ、福崎町賞として高寄教育長より授与しました。受賞論文は「近代日本における出産と産屋」です。受賞者の伏見さんには翌年に講演を依頼することとしています。

(3) 今後の予定

資料に基づき報告しました。

5、閉会

以 上

署名委員 石 川 治

署名委員 谷 口 喜 久 美